

今年、平成27年（2015）3月10日から15日まで、銀座8丁目並木通りの《タイムアンドエフォート》（皮革産業連合会のアンテナショップ）で、靴の記念日に因んで『時代を彩った名靴・流行靴30選』（企画展示・城一生）という特別展があった。

私が伺った日は、神田合同ビルの西村勝三記念室での顕彰式典もあり、都合の良い流れで、特別展も拝見させていただいた。日本に靴産業が生まれて、今年はちょうど145年である。

特別展示に靴・資料を提供し、企画に協力したのは、神戸ファッション美術館／皮革産業資料館／一般社団法人東靴協会／靴製造業／靴卸売業／靴小売業／靴工房などの団体、企業であった。

企画の城さんは、来観者へのお土産（先着100名様）に、坂本龍馬のブーツを模したクッキーまで準備していたから、心憎い演出であった。

掲載の写真は、特別展会場で偶然ご一緒した、業祖西村翁の旧主、佐倉堀田家十三代当主・堀田正典さまを囲んでの一枚。右は企画の城一生さん。左は筆者。



好評のうちに特別展が終わって直ぐ、城さんから電話があり、「稲川さんが誰よりも喜ぶと思ったので、いの一歩にご報告します」と前置きして、下記のような内容の話を伝えてきた。

会期中、大勢のお客様がお見えになったその中で、アンケート用紙に住所氏名電話番号を書き、その上に戸籍謄本まで添え、「私の家系を五代遡ると、弾直樹に辿り着きます」、「弾慎平の長女寿美江は、私の祖母です」という方がおいでになった、というのである。

ちょうど「靴の歴史散歩」に、弾慎平氏の事蹟を書いている最中だったので、あまりのタイミングの良さに、一瞬夢かと思う驚きであった。（この項続く）

